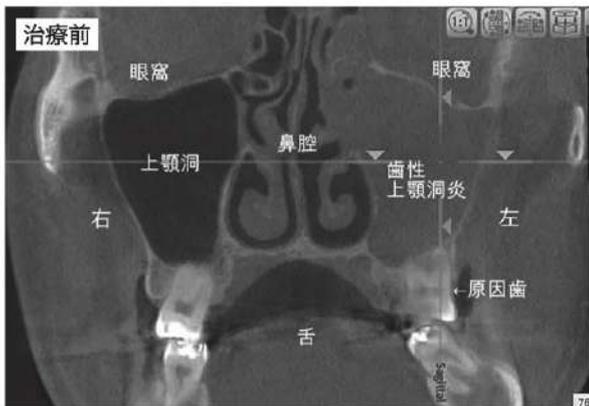


患者の希望に沿って最適な治療を提案 院長と直接話せる夜間電話相談も



(左上)インプラント治療を行う前のシミュレーション。より適正なインプラントを選択して安全適正な位置を決定する (右上)加藤院長(左)と6名のスタッフ (下段)歯が原因だった上顎洞炎(蓄膿症)のCT画像。根の治療と同時に投薬を行い、耳鼻科との連携でほぼ完治



レトロな雰囲気落ち着ける第2待合室(1F)



インプラント治療で安定しにくい片側歯が無い義歯から卒業



院長 加藤 清志

1988年北海道医療大学卒業後、同大歯科保存学第1講座(歯内・歯周治療学)入局。苫小牧市立総合病院で歯科口腔外科を研修。94年大町歯科加藤医院院長に就任。日本全身咬合学会認定医、日本顎咬合学会認定医、日本歯科東洋医学会認定医、日本歯科先端技術研究所口腔インプラント認定医、日本口腔インプラント学会専門医、北海道警察歯科協力医会員。苫小牧市内の各学校歯科医も務める。

少ない通院回数、短期間の治療を心掛ける

1928年に開院以来、三代にわたって地域に根差した診療を続ける大町歯科加藤医院。豊富な経験と高い技術力で信頼の厚い加藤院長が、歯科治療の柱であるう蝕(むし歯)、歯肉炎・歯周病、欠損などの治療に加え、インプラント治療も積極的に取り入れている。患者の現状や治療への希望を聞き取り、歯科医学的に最適な治療方針を提案した上で、なるべく痛くなく、咬めない、あるいは歯が無い時期を可能な限り無くし、根管治療も出来るだけ少ない来院回数で短期での終了を心掛ける。また、ほぼ頭蓋骨全体が撮せる大画面CTも導入しており、上顎洞炎(蓄膿症)など耳鼻科と連携した治療実績もある。

利点の多いインプラント治療

一方、専門医として考えるインプラント治療について①歯の欠損に対して1本から対応でき、咀嚼効率は天然歯と同等かそれ以上②欠損に対するブリッジ治療のように両側の歯を削らなくて済む③左右アンバランスな欠損やあご骨の高度吸収による不安定に対して義歯の安定化を図る④取り外し義歯からの脱却などの利点を強調。加藤院長は「天然歯の崩壊や喪失に対し、身体を支える一助になる素晴らしい治療法なので、不明な点は是非質問して欲しい」と呼び掛ける。加藤院長が直接対応する夜間電話相談、メールによる相談も受け付け、これをきっかけに一般治療やインプラントメンテナンス、セカンドオペニオンの来院者も多く、院長は気軽な利用を呼びかけている。

大町歯科加藤医院
☎(0144)32-2209

院長直通夜間電話相談
(月・火・水・金19:00~20:30 不定休)
☎(0144)32-2239

診療時間/
月・火・水・金/9:00~12:30 14:00~18:30
木・土/9:00~13:30
(最終受付は終了1時間前。土曜は学会等で休診の場合あり)
※要予約
休日/日・祝日、木・土曜午後
(木曜は同じ日に祝日がある場合は午後も診療)



苫小牧市大町2丁目4番6号
→ホームページはこちらから(年内リニューアル予定)

歯科

